

ガザ=ストロフ

-パレスチナの吟^{うた}-

上映会

大津市初

7月6日(日)14:00

大津祭曳山展示館

2011年/フランス・パレスチナ合作/92分

GAZA STROPHES PALESTINE

ガザ=ストロフ-パレスチナの吟^{うた}-上映会

2025年 7月6日(日) 14:00開会 (開場13:30)

大津祭曳山展示館3階多目的ホール

鑑賞料 500円

JR 大津駅より徒歩10分 京阪電車びわ湖浜大津駅より徒歩5分(位置図裏面)

主催:ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会)-滋賀

協賛:平和と市民自治のまち大津をともにつくる会

連絡先 090-4562-7448(岩崎) 090-6323-4858(峯本)

1948年から、ずっとカタストロフ^{大惨事}を生きてきた

世界注視のもとで進行するガザ殲滅一民族浄化を止めたい！そのために開催します。

興味のある方、ガザの現実を知りたい方、何かしたい方、ぜひお越しください。



”撮影から10年以上経っても、この映画が 今もなお今日的意義を持つとは思わなかった”

ケリディン・マブルーク(本作監督)

2023年10月中旬、イスラエルによるガザ地区への軍事攻撃開始から10日後、監督のケリディン・マブルークからショートメッセージが届いた。「撮影から10年以上経ってもこの映画が今日的意義を持つとは思わなかった」と。

『ガザ=ストロフーパレスチナの吟(うた)』は、仏監督・サミール・アブダラとケリディン・マブルークによって2009年に、イスラエルによる軍事侵攻直後に撮影されたドキュメンタリー。ガザに暮らす人々がどのような歴史と暮らしを生きてきたか、生身の声と風景を映し出している。

多くの人々が、これは明らかにジェノサイドだ、と声を上げる悲惨な状況が続く中(2024年9月現在)、人々の姿と歴史を知ることから変わる可能性を問いかける。

ガザ=ストロフーパレスチナの吟^{うた}

監督・撮影: サミール・アブダラ、ケリディン・マブルーク

編集: カヘナ・アティア 音楽: アバス・バハティアリ

製作: L'Yeux Ouverts, Iskra

協力: ドバイ・エンターテインメント、メディア・オフィス

原題: Gaza-Strophe, Palestine

日本語字幕: 二口愛莉

配給・宣伝: Shkran

2011年 / フランス・パレスチナ合作 / 92分

作品HP <https://lime010328.studio.site/>

ガザ=ストロフ X アカウント @Gaza_strophe



作品 HP ↑



会場案内

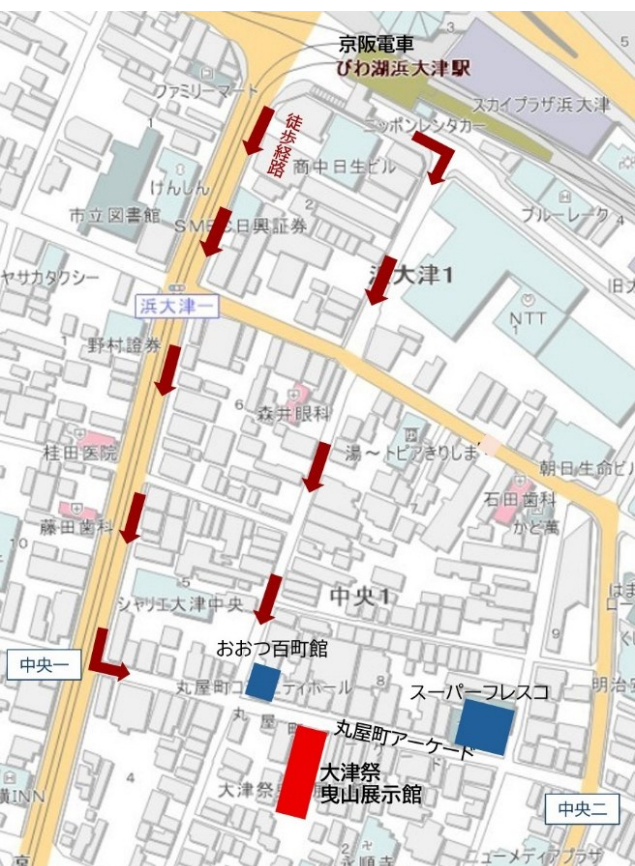
大津祭曳山展示館

大津市中央一丁目 2-27

◆JR 大津駅より徒歩10分

◆京阪びわ湖浜大津駅より
徒歩5分

左図は最寄り京阪びわ湖
浜大津駅からの道順です
会場に駐車場はありません



ZENKO 平和と民主主義をめざす
全国交歓会

ZENKO(平和と民主主義をめざす全国交歓会)は、イスラエルによるパレスチナ、ガザ地区へのジェノサイドに反対しています。7月26~27日の「ZENKO in 相模原」には全国各地、アメリカ、韓国、台湾、中東などからゲストが参加します。詳しくは HP をご覧ください→

